

所属長	所属科長	事務(局/部)長
		

令和3年 4月 2日

理事長 殿

学 長 殿

令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症
対策支援プロジェクト研究報告書

標記の件に関しまして、別紙のとおり報告いたします。

また、本研究報告の内容は、近畿大学学術情報リポジトリ (KURepo) に公開する旨、承諾いたします。

1. カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> 研究 <input type="checkbox"/> 開発・改良 <input type="checkbox"/> 提案
2. 企画題目	小学校 ICT 教育導入から発展までの具体的事例の公開

研究代表者

所 属： 附属小学校

職・氏名： 教務部長(前・教育研究部長) 竹下仁章



令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	小学校 ICT 教育導入から発展までの具体的事例の公開
研究者所属・氏名	研究代表者：竹下仁章 共同研究者：外山宏行・大西浩二

1. 研究、開発・改良、提案目的・内容

平成30年度から個人持ち iPad を使った授業を行ってきた本校のスキルを活かし、GIGA スクール構想の前倒しによって急速タブレットを導入することになった近隣校などに、遠隔授業などを含めた ICT 教育の推進に向けた取り組みなどの支援を行っていく。

2. 研究、開発・改良、提案経過及び成果

本校の ICT 教育への取り組みは、小学校としては先進的なものとして捉えられており、附属高等学校の iPad 導入の成功と、近畿大学の革新的な情報発信と相まって、高い関心を寄せていただいた。また、我々の実践に興味をもってもらった学校や団体から、いわゆる「口コミ」で情報を得た学校・団体からの依頼もあり、本校の日頃の実践を広く知っていただく貴重な機会となった。元来想定していた外部団体に講師として出向く機会は、コロナ禍の中ということもあって少なかったが、ご来校いただいて授業を実際に見てもらえる機会が多かったのが収穫でもあった。

どの学校・教育委員会でも、タブレットの導入について大きな不安を抱えており、導入過程や実際に導入した際の運用の仕方には質疑応答の時間がいくらあっても足りないような状態であった。我々もそういった熱意に応えるべく準備を行い、多くの教員が快く指導略案を作成したうえで授業公開に臨んだ。授業後に参加者と交流することで、我々にとっても新しい気づきがあり、ともに学ぶことのできる貴重な研鑽の場とすることができた。また、公立小学校から直接依頼を受けることがあったり、市の ICT 教育を実際に牽引していく立場の中堅・若手教員の方が熱心に授業を見学したうえで様々な質問を投げかけたりする場面に出会い、我々私学教育に携わる者として、ICT 教育推進をふくめた授業改善をいっそう進める必要があると感じた。

以下に、今回の具体的な実践記録をまとめた。

1. 見学のため来校された学校、団体等

- 10月 東大阪市教育委員会情報部会
- 10月 東大阪市立弥刀東小学校教員
- 11月 東大阪市教育委員会教育センター
- 11月 吹田市教育委員会
- 12月 愛知教育大学 磯部征尊准教授
- 1月 香里ヌヴェール学院小学校
- 3月 東大阪市立布施中学校教員

2. 講師として招待された団体

- 12月 吹田市教育委員会 外山宏行教諭

3. オンラインで講師として参加した研修

- 1月 吹田市教育委員会 竹下仁章教諭
- 2月 吹田市教育委員会 宮崎慶子教諭
- 2月 吹田市教育委員会 福寄将樹教諭 塚本恵梨教諭

3. 本研究と関連した今後の研究、開発・改良、提案計画

今後は附属高等学校に引き続き、ADS (Apple Distinguwished School) 認定を目指し、本校のICT教育が児童の学びや成長に効果を上げていることを証明したうえで、私立小学校として、伝統を重んじながらも、新しい教育の実践を推進していく。

4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類 (著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)

5. 開発・改良、提案課題の成果発表等

--